

大学院人間文化総合科学研究科(博士前期課程)

令和7年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

心 身 健 康 学 専 攻
ス ポ ー ツ 科 学 コ ー ス

〔 専 門 科 目 〕

試験日：令和6年7月6日(土)

注 意

1. 問題Ⅰは小問のうち3問を選択解答すること。
問題Ⅱまたは問題Ⅲのいずれか1問を選択解答すること。
問題Ⅳ及び問題Ⅴはそれぞれについて解答すること。
2. 解答は、別添の解答用紙(4枚同封)を用い、問題Ⅰから問題Ⅴの大問1問につき1枚の解答用紙に問題番号を明記のうえ使用すること。また、すべての解答用紙に受験番号及び氏名を忘れずに記入すること。
3. 総ページ数 — 6ページ
4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

I 下記の中から3問を選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

- (A) スポーツ権
- (B) 総合型地域スポーツクラブ
- (C) ライフスキル
- (D) 表現運動
- (E) 運動単位
- (F) 筋ポンプ作用

- II 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は開催都市の東京のみならず、日本社会に様々な遺産を生み出したとされる。あなたが考える大会の遺産をポジティブ／ネガティブの両側面から一つずつ示して論じなさい。

- Ⅲ 情報化社会の進展、労働形態の変化などによって生活様式が変化している。これからの社会を展望したとき、運動やスポーツを行うことの意義や効果について、年齢や体力等に応じた目的や問題を具体的に示しながら、あなたの考えを述べなさい。

IV 次の英文は、アスリートの動機づけについて述べたものである。全訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

relish : 味わう、楽しむ take to meet : 達成する utmost : 最大限の

出典 : James J. Barrell and David Ryback (2008) *Psychology of Champions: How to Win at Sports and Life with the Focus Edge of Super-Athletes*, London: Praeger.

V 次の英文は、運動学習の研究法に関するものです。全訳しなさい（ただし括弧内の英文は訳さなくてよい）。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

secondary-task methods : 二次課題法 latency : 潜時 retention : 保持
generalizability : 一般化可能性

Richard A. Schmidt and Timothy D. Lee (1999) *MOTOR CONTROL AND LEARNING* (Third Edition) , Human Kinetics